

ときめきインテリア



事業だ。狙いは、中国などの海外生産に押されがちな地元産の素材産業を活性化させること。五つのグループが製品開発に取り組み、まな板や水切りラックなどと共に生まれたのがベジネットだ。

最近のキッチンには、工業製品によって取り囲まれているといつて過言ではない。へのりと見渡すと目に入ってくるのは、システマキッチンのステンレスや人造大理石、電化製品の樹脂など、人工的な素材がほとんどだ。

以下で多用途

い部分を二層とし、上層をロフトとして使う。たゞ天井高が低くても、上下層に共通の吹き抜け部分が開放感をもち、十分に部屋として使うことができる。上層を収納スペースや寝室にあてれば、下層部分は広く、多用途に使える。

ミツバチの歴史
山田養蜂場の研究から生まれ
お肌への「潤い」



パソコンの大掃除 吸排気口ていぬいに



ちりは故障の原因になるので、まずパソコンの吸排気口にブラシをかけてかき出す (千葉県中央区の前田さん宅)

専用クリーナーを活用

気ぜわしい師走が、すくなくとも、部屋の掃除を始めると同時に、見過しておきたいのがパソコン。本体にちりが付着し、マウスやキーボードも手あかで汚れることが多い。掃除には洗剤のアニオン性があるようだ。パソコンには静電気が発生するため、周囲のちりや引寄せやすい性質を持つ。このため週一回程度、乾いた柔らかい布でちりを手入れが基本。(KEMOパーソナルサポート事業部スレーシヨソマネージャー)だ。

星野氏によると、汚れがひどい場合は、水かぬる湯に浸してよく絞った布でふきかけるのが鉄則という。「ただんの手入れは、百円ショップで買える名目の細かい掃除機や、眼鏡ふきのクロスを利用するといふ。ハンディモップなら、静電気を起さないタイプがいいだろう。」

汚れが定着してしまったパソコンは、どう掃除すればいいのだろうか。パソコン修理工房PCサポーターズ(千葉県八千代市の浦原竹二郎代表兼技術部長)に家庭でできるノウハウを聞いた。「デスクトップパソコン本体の外部の汚れは、AV機器や家具のものと同様に、圧縮空気を噴出させるエアークスター。これで本体とキーボード、マウスの掃除ができる。液剤タイプのクリーナーには、専用クリーナーと、眼鏡ふき程度の細かいクロスがあるといい。何か買えば足らずな、まず液剤タイプの専用クリーナー。ほかの掃除グッズは、家にあるもので代用可能」と、オールパワート(家事の知恵)ガイドの毎田祥子さん(千葉県千葉市)も指摘する。

まず掃除前には電源コードとケーブル類をすべて外す。ノートパソコンはバッテリーも外す。手や手前からは時計や指輪なども外したほうが安全だ。

パソコン本体はCPUの熱を風で冷やすための吸排気口周辺にはちりがたまりやすく、内部の冷却ファンに絡み付いて故障を引き起こすこともある。ここで最初に使ったのは、吸排気口を洗って、ちりを取り除く。吸排気口を洗って、ちりを取り除く。吸排気口を洗って、ちりを取り除く。吸排気口を洗って、ちりを取り除く。吸排気口を洗って、ちりを取り除く。

水にひたしてよく絞り、表面の汚れを落とす。メラミンスポンジを使うとガラスチックなどの表面の汚れが薄く削り取られるので、素材によっては目立たない箇所を試した方がいい。キーボードのキートップなどは、スポンジの角を使うといい。

マウスなどのケーブルは、このスポンジに切れ目をいれ、その間を通していくと汚れが取れやすい。このとき、ケーブルを強く張り過ぎないようにする。乾いた布で表面の水分をふきとれば、本体、キーボード、マウスの掃除は完了。

次は液剤タイプのクリーナーだ。枠の部分の掃除は充分に使って、こぼれは避け、パソコン専用の掃除シートなどを使うといい。ディスプレイ表面は専用クリーナーでクロスに吹き付け、ちりを飛ばし、エアークスターで吹き飛ばす。ノートパソコンの場合、片方の手で枠の上を押さえてディスプレイの面に沿って上下に動かす。押し動きをしながら、最後に、布目の細かい乾いた布でふき取る。これでパソコンの掃除は完了。コンセントまわりのちりも取り除いておくと、簡単だが、見違えるようにキレイになるはず。

(ライター) 浅野 安由

エアークスターは、工業製品によって取り囲まれているといつて過言ではない。へのりと見渡すと目に入ってくるのは、システマキッチンのステンレスや人造大理石、電化製品の樹脂など、人工的な素材がほとんどだ。

いよいよ解禁!!
初荷ふぐ
水に刺し
箱根強羅温泉
12月1日～